

【資料 8】

担い手との関わり方

○昨年度：実行委員会の実施

①交流会の実施：担い手

- ・まちづくりや社会実験の進捗共有、企画の深度化や機運醸成、来年度の社会実験へと繋げていくために、**担い手と交流会を実施**する。
- ・年に1-2回程度



○昨年度：野点会／ヒトヨシクマラボの実施

②(仮)出張説明・議論：地域団体／業界団体／学校等

- ・まちづくりや社会実験の進捗共有・周知、意見交換を行うために、**地域団体／業界団体／学校等へ出向いて共有・議論を行う。**（市+事務局チーム）



③「人吉まちなかフォーラム」の実施（1回）：全体

- ・まちづくりの動きや社会実験結果を広く共有し、次年度以降動いていくプロジェクトの機運醸成を図るために、**一般公開で誰でも参加可能な「人吉まちなかフォーラム」を開催する。**



[実施スケジュール案]	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市民 地域団体 業界団体 学校 等			(仮)出張説明・議論：随時実施								
社会実験担い手 担い手候補			交流会① 1					交流会② 2			1 まちなか フォーラム